

## 霞ヶ浦における底層溶存酸素量類型指定検討会の概要

## 1 実施期間 令和4年度～5年度（4回）

## 2 検討会参加者（敬称略）

## （1）学識者・有識者（所属：令和4年3月現在）

- 茨城大学 地球・地域環境共創機構 水圏環境フィールドステーション 教授 加納 光樹
- 国立研究開発法人国立環境研究所 地域環境保全領域 湖沼河川研究室 室長 高津 文人
- 筑波大学 名誉教授 福島 武彦
- 国立研究開発法人国立環境研究所 生物多様性領域 生態系機能評価研究室 室長  
松崎 慎一郎
- 国立研究開発法人土木研究所 流域水環境研究グループ 水質チーム 上席研究員  
山下 洋正

## （2）関係機関・団体

- 茨城県（県民生活環境部環境対策課、霞ヶ浦環境科学センター、水産試験場内水面支場、霞ヶ浦北浦水産事務所）
- 千葉県（県民生活環境部水質保全課）
- 霞ヶ浦漁業協同組合
- 一般社団法人 霞ヶ浦市民協会

## 3 議事

- （1）霞ヶ浦における情報整理結果
- （2）霞ヶ浦における保全対象種の選定について
  - ・保全対象種の選定の考え方
  - ・保全対象種の選定
  - ・目標値の設定
- （3）霞ヶ浦における類型指定（案）について
  - ・水域の特徴の整理
  - ・類型指定（案）の検討